結腸切除術　を受ける患者さんへ

【患者さん用クリニカルパス】

ID:　　患者氏名：　　様

	入院当日	入院２日目～手術前日	手術当日　月　日		術後１日目	術後２～5日目	術後6日目～10日目程度(退院)
	月　日	月　日	手術前	手術後	月　日	月　日～　月　日	月　日～　月　日
目標	入院中の経過がわかる。	手術までの経過がわかる。 心身ともに手術を受ける準備ができる。		痛みのコントロールができている。	歩行訓練が出来る。	歩行距離をのばす。 食事をむせることなく摂取することができる。	食事のとり方、退院後の過ごし方がわかる。
説明指導	看護師より入院中の説明を行います。 			ご家族に医師から手術後の説明をします。	離床やリハビリの説明をします。肺炎にならないように痰をだしてください。また、なるべく早期に歩いたほうが回復が早まります。 	食事を開始して徐々に食事量を増やしていきます。むせないように気を付けて、よく噛んでゆっくり時間をかけてたべてください。	退院前に栄養士が食事指導を行います。
	外科の医師から手術の説明を行います。 説明書や承諾書にサインをいただきます。 看護師より術前説明を行います。 						
治療処置点滴	必要に応じて歯科にて口腔内のケアを行う方もいます。	24時間点滴をします。	6時頃、血圧脈拍、体温などを測定します。	手術後は食事が十分にとれるまで点滴をします。 生体情報モニターを装着します。	生体情報モニターを外します。		
検査	手術にむけて血液検査、X線撮影、心電図、CTの検査等をします。	必要時、大腸内視鏡検査により病変部に印をつける処置を行います 		血液検査、エックス線撮影等を適宜試行します。			適宜血液検査、X線撮影があります。
内服	現在飲んでいる内服薬の確認をします。 内服薬は基本的に継続内服とします。 中止する薬がある時は説明いたします。 桃核承気湯という漢方の下剤を内服します。		術前に常用薬を指示通り内服します。	手術当日、術後は内服を中止します。必要に応じて点滴で代用します。	水分摂取開始後、医師の指示により内服薬を再開します。ミヤＢＭという整腸剤、大建中湯という腸を動かす漢方を内服します。 		
生活行動安静度	特に制限はありません。禁煙です。 		：　　に、担当医・看護師と手術室へ移動します。それまで病室で安静にしていただきます。	ベッド上で安静にしていただきます。 下肢の静脈血栓予防のためフットポンプで足のマッサージをします。	ベッドの横で座ったり、立つ訓練をします。 ベッドの横で足踏みしたり、病棟内を歩きます。 歩行距離を伸ばします。 		
排泄	桃核承気湯という漢方の下剤の影響で下痢をします。		朝、浣腸をします。	手術室で尿の管が入ってきます。	自力でトイレへの歩行が可能となれば尿の管を抜きます。転倒に気を付けてトイレまで歩行してください。 歩行に不安があるときには看護師が付き添いますのでおっしゃってください。		
清潔	シャワー浴ができます。 				体を拭きます。 	シャワー浴ができます。 	入浴ができます。
食事	大便の残りにくい易消化食をお出しします。 基礎疾患(糖尿病・高血圧など)に応じて、治療食をお出しすることもあります。 手術前日夜まで食事を摂っていただきます。	何も食べられません。 水分は当日7:00まで飲むことができます。			飲水が可能となります。	五分粥，全粥、米飯と少しずつかたくなります。ゆっくりよく噛んでお召し上がりください。 	
その他	院内禁煙となっております。 大部屋での携帯電話の使用はご遠慮ください。	付き添いは必要ありません。	痛みや気分不快がありましたら看護師にお知らせください。				退院後に異常がありましたらすぐにご連絡ください。

注）予定は現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わることがあります

岩手医科大学附属病院

外科